

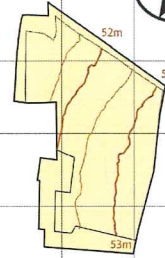
西富岡・向畑遺跡 縄文時代の埋没林と集落

埋没林検出状況全景（北東から）

写真の下側が丘陵斜面になります。木が地滑りした方向に放射状に倒れていることがわかります。



- 住居 中期中葉（勝坂式期）
- 住居 中期後半（加曾利E式期）
- 住居 後期前半（堀之内式期）
- 水場土坑 中期後半
- 木組遺構 後期前半



全国初！



↑鳥の羽 縄文時代の鳥の羽の発見は全国で初めて！！です。



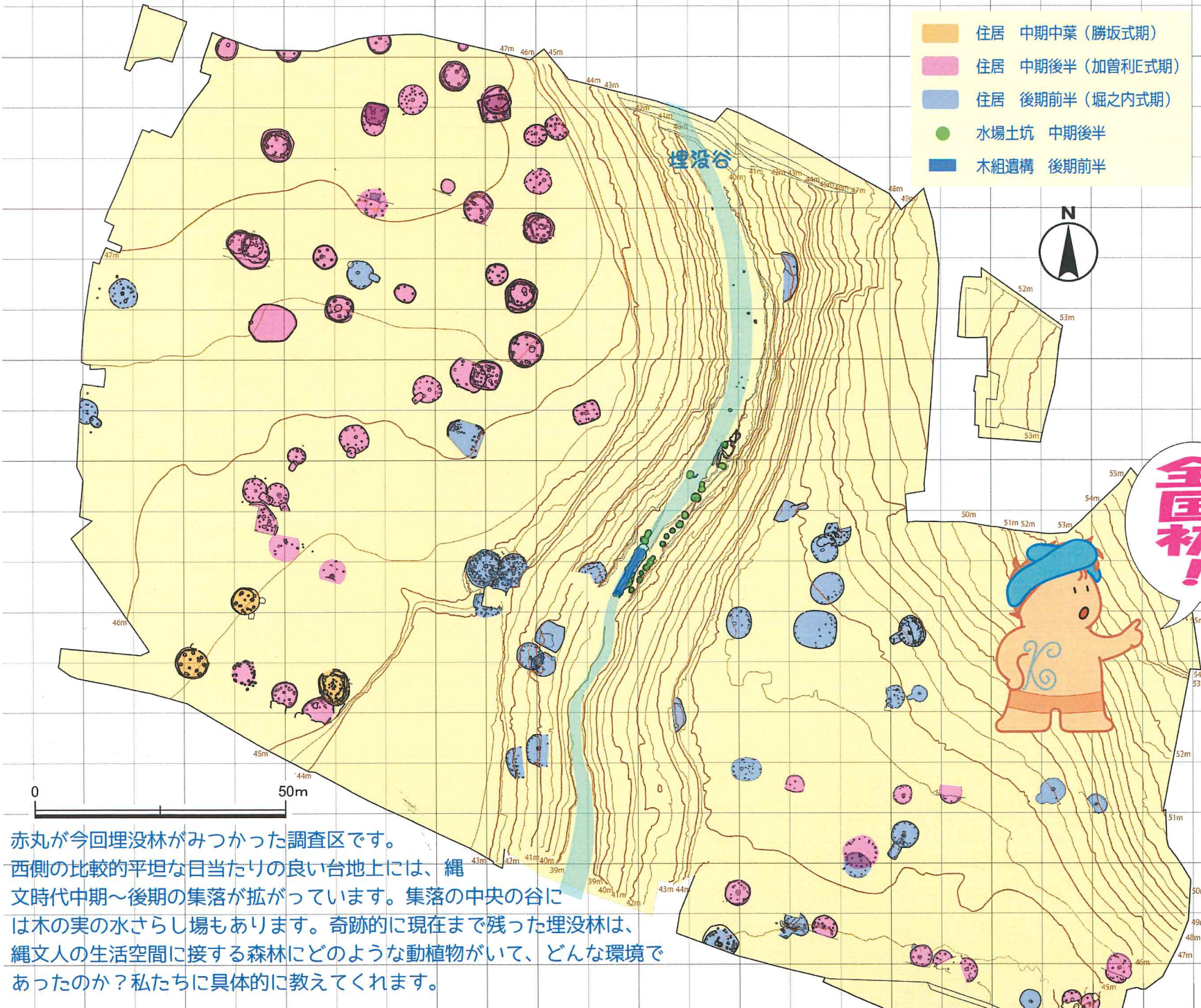
↑緑色をした木の葉。緑色はすぐに茶色く変色しはじめます。



↑地滑りのローム層直下から顔を出した縄文土器片と植物。土器片のほか、打製石斧・磨製石斧などの石器が出土しています。



↑昆虫 頭と前足が欠けていますが、セミの幼虫か抜け殻のようです。前足が残るものも見つかっています。



赤丸が今回埋没林が見つかった調査区です。

西側の比較的平坦な目当たりの良い台地上には、縄文時代中期～後期の集落が広がっています。集落の中央の谷には木の葉の水さらし場もあります。奇跡的に現在まで残った埋没林は、縄文人の生活空間に接する森林にどのような動植物がいて、どんな環境であつたのか？ 私たちに具体的に教えてください。

←まるで森の倒木の下を覗いたような様子で出土した木の葉と枯葉です。

↓笹 節がしっかり残っています。

出土したとこ見ないと信じられないわ・・・！



今回の調査区



↑昆虫 ゴミムシの仲間です。ほぼ完全な状態を保っています。



↑昆虫 タマムシの羽のようです。鮮やかな模様が残っています。